

「情報通信政策の最新動向に関する講演会」を開催

北陸情報通信協議会では、北陸総合通信局及び一般社団法人石川県情報システム工業会と共催で、「情報通信政策の最新動向に関する講演会」を平成27年1月20日（火）に金沢市内のホテルにおいて、募集予定人員を大幅に超える140名の参加を得て開催しました。

2020年に開催が決定している「オリンピック・パラリンピック東京大会」。それに向けて国内では様々な取組が行われていますが、情報通信に関する分野でも同様です。今回は、「2020年代に向けた情報通信政策の在り方～世界最高レベルの情報通信基盤の更なる普及・発展に向けて～」と題して、総務省総合通信基盤局電気通信事業部 事業政策課 吉田課長に、また現行のハイビジョンを超える「4K・8Kテレビ」をテーマとして、総務省情報流通行政局衛星・地域放送課 中西技術企画官からそれぞれ講演をいただきました。

まず、吉田課長から、電気通信市場やブロードバンド市場、移动通信分野などにおける歴史的移り変わりについて説明があった後、電気通信市場で公正な競争が行われるための施策について個別のテーマにわけて解説がありました。その他、個人情報保護等を含む電気通信利用者の保護政策、さらに海外の観光客からニーズが高い「無料Wi-Fi」の整備や携帯電話国際ローミングの低廉化に向けての取組に触れ、今後総務省が目指す「モバイル創生プラン」について言及されました。

次に、中西技術企画官から、「4K・8Kテレビ」の推進に関して、今月上旬にラスベガスで開催された「CES 2015」を訪問され、メーカー各社の出品状況やその画質についての感想なども交えて解説をいただきました。また、4K・8Kで実現される高精細な映像技術の別分野への応用可能性についても展望されました。

当日は、情報通信政策の将来展望とあわせ、「4K・8K」での「オリンピック・パラリンピック東京大会」視聴について、未来「2020年」を期待させる時間となりました。



北陸総合通信局
星局長 あいさつ



総合通信基盤局
電気通信事業部
事業政策課 吉田課長講演



情報流通行政局
衛星・地域放送課
中西技術企画官講演



会場の様子